



生活支援体制整備事業

# お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第17号 2021年2月

## 毎日のお散歩が地域の見守りに!!!

### わんわんパトロール

豊似地区でわんわんパトロール活動が始まっていると聞き、豊似駐在所の明先さん、活動の中心となっている八重樫さんにお話を伺いました。

わんわんパトロールは「子どもが困ったときに誰に相談すればいいのか?」「子どもの安全を守るためには?」という保護者の声が明先さんのもとに届いたことで始まりました。

この活動は赤いハンカチが目印です。犬に赤いハンカチを付けて散歩しつつ見守り隊として役割を担っています。赤いハンカチは明先さんの奥様の手作りだそうです。

八重樫さんは学校の下校時間に合わせて愛犬のチョコちゃんを散歩を開始し、雪道でも軽快に歩いていきます。毎日40分近く歩いているから良い運動にもなるとのことでした。

子どもたちがチョコちゃんの姿を見ると元気に「チョコ〜」と叫びながら走ってきました。チョコちゃんも「ワン!ワン!」と嬉しそうに答えていました。余談ですが、とても人懐っこい性格をしているのか、私がかメラを向けるとピタッと止まってくれて、撮影がしやすかったです。



八重樫さんは子ども達と一緒に歩きながら、英語教室の会場に向かいます。道中、交代でチョコちゃんの散歩のお手伝いをしています。

八重樫さんは散歩の手伝いをしている子どもたちに目を向けながらも、後ろから歩いてきた子どもにも、「スキーウェア(下)穿いてこなかったの?手に持っていたら大変だから、きれいに畳んでカバンに入れてあげる」と声を掛け見守っている様子がありました。

会場に到着し別れの際、八重樫さんが「チョコちゃんに元気貰って勉強頑張つてね」と言ったことに対して、子ども達は「元気貰わなくてもいい。逆に私達がチョコちゃんに元気をあげるんだ」と答えていました。

八重樫さんは4年前まで保育園で給食を作る仕事をしていました。ゆえに、わんわんパトロールで見守っている子ども達は教え子にあたります。八重樫さんは「この活動していて一番感じることは子ども達の成長。日が経つにつれて言葉遣いが変わって来る。昔面倒を見ていた子ども達に声をかけてもらえる嬉し」と話してくれました。

日常の活動に注目し、地域で大切にします。また、ちよつとした工夫をするだけで、地域に根付いた無理なくできる支え合い活動になつていると思います。

日常の中には気が付かないだけで、たくさん支え合い活動が存在します。みなさんも日常を思い返してみてください。たくさん支え合いがあるはずですよ。